

白老町立国民健康保険病院改築事業
設計・施工一括発注に伴う公募型プロポーザル

審査結果報告書

令和4年1月20日

白老町立国民健康保険病院改築事業者選定委員会

白老町立国民健康保険病院改築事業公募型プロポーザルに関して評価要領に基づき提案内容等の審査を行いましたので、審査及び講評結果を下記のとおり報告します。

1 委員構成

白老町業務発注に係るプロポーザル方式実施要綱に基づき、「白老町立国民健康保険病院改築事業者選定委員会」を設置し、最適提案者の選定を行いました。

(1) 委員構成

職名	氏名	役職等
委員長	安藤 尚志	白老町教育委員会 教育長
副委員長	吉村 智	白老町町内会連合会 会長
委員	猪原 達也	白老町立国民健康保険病院 院長
委員	伊勢 友香	白老町立国民健康保険病院 看護師長
委員	村上 弘光	白老町立国民健康保険病院 事務長
委員	野崎 朋臣	北海道胆振総合振興局 保健環境部 苫小牧地域保健室 企画総務課長
委員	関 伸泰	北海道胆振総合振興局 室蘭建設管理部 建設行政室建設指導課 主幹
委員	北平 保	白老町立国民健康保険病院運営審議会 会長

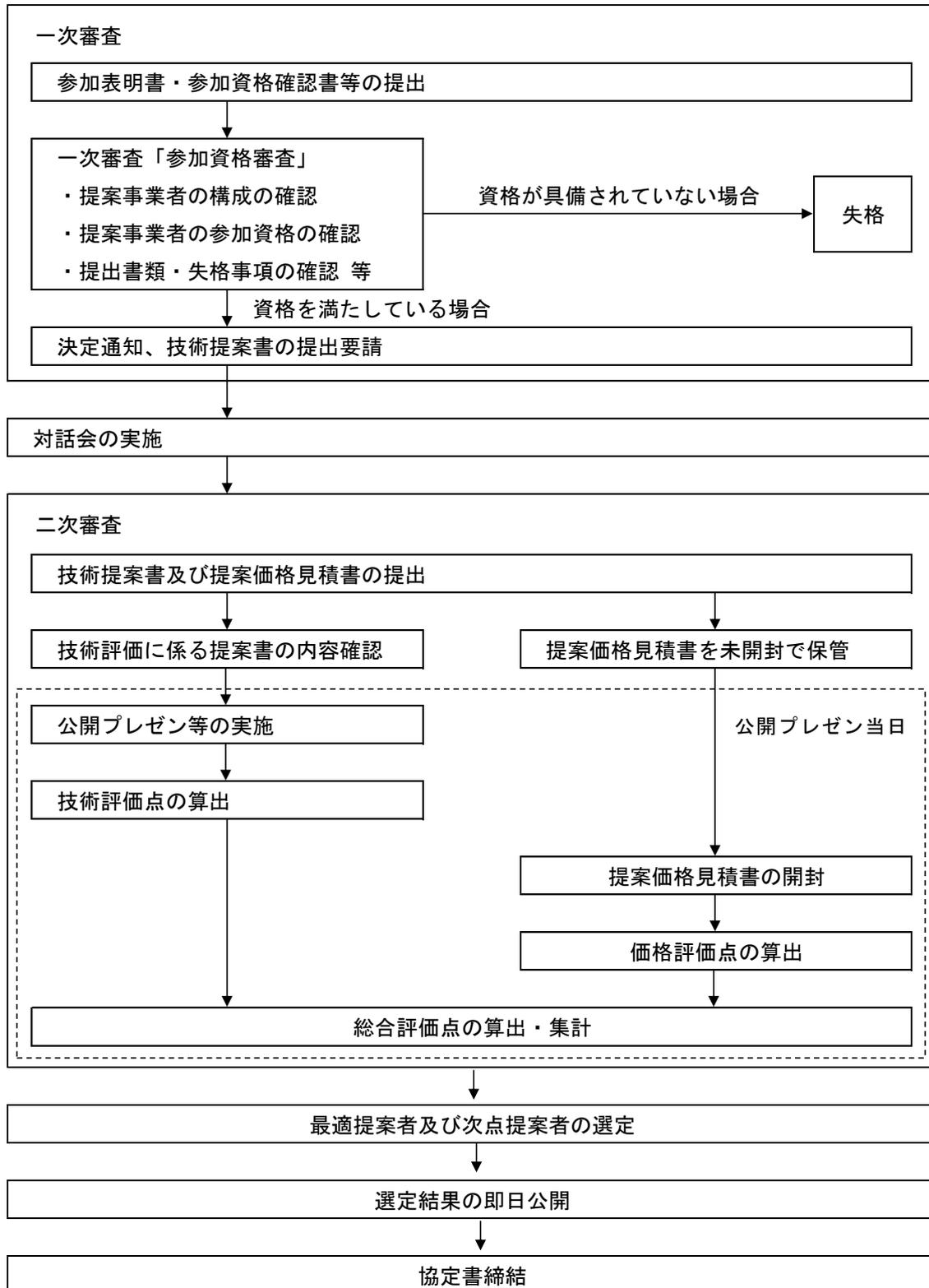
(2) オブザーバー

氏名	役職等
古俣 博之	白老町 副町長
岩堀 幸司	認定 NPO 法人 健康都市活動支援機構 理事
久光 孝治	認定 NPO 法人 健康都市活動支援機構 主席研究員

2 選定までの経緯

令和3年8月3日(火)	プロポーザルの公告
令和3年8月16日(月)	実施要領等質疑締切
令和3年8月20日(金)	実施要領等質疑回答
令和3年8月27日(金)	参加表明書受付締切
令和3年9月1日(水)	第1回選定委員会
〃	一次審査結果通知、技術提案書の要請
令和3年9月17日(金)	技術提案質疑締切
令和3年9月28日(火)	技術提案質疑回答
令和3年10月12日(火)	第2回選定委員会
令和3年10月26日(火)、27日(水)	対話会実施
令和3年12月20日(月)	技術提案書提出締切
令和4年1月13日(木)	第3回選定委員会
令和4年1月16日(日)	公開プレゼンテーション、ヒアリング
〃	第4回選定委員会、即日結果公表

3 評価手順



4 評価点の算出方法

(1) 技術評価点

評価項目毎に5段階評価を行い、その結果に応じた乗率を配点に乗じて技術評価点を算出します。以下に技術提案の評価項目及び配点を示します。

技術点	大項目	中項目	100点
① 取組体制とコストコントロールについて			20点
・ 取組体制		・ 本事業に対する理解度とそのためのチーム体制	
・ 発注者・設計者・施工者間のコミュニケーション		・ 発注者との適切な会議体の設定 ・ 設計者と施工者の協議の場の設定	
・ コストコントロール		・ 総建築費の適正化の工夫	
・ 設計変更時の考え方		・ 設計変更が生じた時の対応	
・ 設計・施工工程		・ 適切な工程管理	
		・ 施工の適切な進め方	
		・ 感染症防止対策の徹底による技術者確保と工期厳守の考え方	
② 建築計画について			25点
・ 地域性・将来性を踏まえた設計		・ 地域性・将来性を踏まえた配置計画の提案	
		・ 気候風土への配慮と敷地全体計画の提案	
・ 医療提供の機能と運営		・ 外来診療部門(救急・健診含む)のプランニングについて	
		・ 診療部門のプランニングについて	
		・ 病棟・介護医療院のプランニングについて	
		・ 管理部門・サービス部門のプランニングについて	
・ 療養環境・執務環境		・ 患者療養環境について ・ 職員執務環境について	
・ 将来対応		・ 将来の少子高齢化等への配慮	
③ 設備計画について			15点
・ 設備計画の概要		・ 設備計画の理念と方針、及び考え方	
・ ライフサイクルコスト(エネルギー消費量の推計)		・ 省エネルギーの提案	
		・ エネルギー消費量の低減の提案(計算根拠)	
・ 維持管理		・ 維持管理のしやすさの提案	
		・ 通信系、ナースコールなどの提案	
④ 病院の安全・安心について			15点
・ 構造設計の概要		・ 構造計画の理念と方針、病院の安全安心の考え方	
・ 地震対策		・ 地震対策の提案	
・ 津波対策		・ 津波対策の提案	
・ 防火対策		・ 自力避難が困難な患者等への避難・誘導、搬送の考え方	
・ 寒冷地・雪対策		・ 寒冷地対策、外断熱工法、雪対策の提案	
・ 汚染対策・パンデミック対策、院内感染対策		・ 建築・設備計画での各種感染予防の対策、特にパンデミック時の発熱外来対応	
⑤ 地元貢献について			10点
・ 町内企業への発注額		・ 最高の発注金額＝満点、その他点数＝発注金額÷最高額×満点 ※町内企業のJVによる受注金額は、この額に含めないものとする	
⑥ その他提案について			5点
・ 町民、周辺住民への配慮		・ 施工時の配慮、完成時の住民利用の工夫	
・ ピロティ部分の有効活用案		・ 将来の用途の考え方と、建物の工夫	
・ その他		・ 各種提案	
⑦ プレゼンテーション点			10点
・ 設計者の説明・対応		・ 設計者の人柄	
		・ 設計者の技術、ノウハウ	
・ 施工者の説明・対応		・ 施工者の人柄	
		・ 施工者の経験、知識、対応力	

(2) 価格評価点

下限額を100点とし、見積価格と下限額の差異の大きさに応じて、減点数を求め価格評価点を算出します。

なお、見積価格が上限額を超えた場合は0点とし、また、下限額を下回った場合は100点据え置きとします。

i) 26億円 < 見積価格 < 2,933,100千円

$$100 \text{ 点} - \frac{\text{見積価格} - \text{下限額 } 2,600,000 \text{ 千円}}{(\text{上限額 } 2,933,100 \text{ 千円} - \text{下限額 } 2,600,000 \text{ 千円}) \div 100 \text{ 点}}$$

ii) 見積価格 > 上限額 2,933,100千円 0点

iii) 見積価格 < 下限額 2,600,000千円 100点据え置き

※ 参考価格 26.5 億円から 5 千万円引き下げた金額 (26 億円) を下限額として設定

(3) 総合評価点

総合評価点の算出は加算方式とし、技術評価点を80点、価格評価点を20点に換算のうえ、合計100点で評価します。

$$\text{総合評価点 (100点)} = \text{技術評価点} \times 0.8 \text{ (80点)} + \text{価格評価点} \times 0.2 \text{ (20点)}$$

5 審査経過

	開催日	審議事項
第1回	令和3年9月1日	・ 委嘱状の交付、正副委員長の選任 ・ 一次審査の実施
第2回	令和3年10月12日	・ 評価要領の決定
第3回	令和4年1月13日	・ 技術提案評価に向けた勉強会
第4回	令和4年1月16日	・ 二次審査の実施 ・ 最適提案者及び次点者の選定

■ 参加資格確認及び一次審査

令和3年8月27日（金）に参加表明書の受付を締め切り、7者から参加表明書の提出がありました。

一次審査では、参加表明書の提出があった7者に対して、プロポーザル実施要領で定める有資格者の配置や実績などの参加資格要件について審査を行いました。

審査の結果、すべての応募者が参加資格を満たしていることを確認し、参加表明のあった7者を一次審査通過者として選定しました。

■ 二次審査

一次審査を通過した7者に対し、令和4年1月16日（日）に二次審査の公開プレゼンテーション・ヒアリングを実施しました。

二次審査では、プロポーザル評価要領で定める評価項目に基づき、技術提案書の的確性、具体性、実現性、創造性及び提案者の取組意欲等を含め、総合的な審査を行い、最適提案者及び次点者を選定しました。

6 審査結果

最適提案者 フジタ・久米設計・岩倉建設・岩崎組特定建設工事共同企業体

次点提案者 戸田建設株式会社

順位	参加事業者名	技術評価点 (配点 80 点)	価格評価点 (配点 20 点)	総合評価点 (配点 100 点)
最適 提案者	C社	63.0	17.0	80.0
次点 提案者	D社	55.7	17.9	73.6
3位	A社	55.9	17.3	73.2
4位	G社	52.7	17.1	69.8
5位	E社	57.8	9.3	67.1
6位	B社	60.3	5.0	65.3
7位	F社	53.1	0.0	53.1

※ 最適提案者及び次点提案者のみ参加事業者名を公表します。また、3位以下は提案者記号での表記とします。

7 審査講評

(1) 全体講評

今回のプロポーザルについては、本町では初となる設計施工一括方式、いわゆるデザインビルドを採用し、民間の持つ「高度な技術力」と「創造力」、「豊富な知識」と「経験」を存分に発揮した中で良質でローコスト、さらには、工期短縮による病院改築を目指したところでありました。

実施要件としては、既存病院を運営しながらの現地建替、また、途中、北海道の新たな津波想定浸水深の公表により、急遽、一階のピロティ化と屋上等への緊急避難機能等を追加することとなりましたが、参加事業者にはいずれも創意工夫の中でご対応をいただきました。

特に、参加いただいた全7者は、今回の事業の特徴やねらいを深く理解し、豊富な病院建設の実績と取組体制等、いずれもそんな色なく、今後の事業の推進に際して、病院現場との密接なコミュニケーションが十分に期待されるものでありました。

病院機能についても、要求水準に対して真摯に対応いただき、病院を利用する患者、医療関係者はもとより、地域住民に対する有効性、環境への配慮など、その影響力等を鑑み、総じて水準の高い提案をいただきました。

さらには、本町の地域経済への波及効果を高めるため、「地元貢献」に関する要求も行ったところではありますが、いずれも町内事業者の積極的な活用や地元調達率について十分な配慮をいただきました。

このように、いずれの提案も本町の地域特性を十分に理解し、各社が持てる技術や想像力を存分に発揮した甲乙つけがたい提案であり、本町の将来における医療体制の根幹をなす町立病院改築事業にふさわしいプロポーザルでありました。

(2) 個別講評

① 最適提案者：フジタ・久米設計・岩倉建設・岩崎組特定建設工事共同企業体

今回の提案では、現地建替えという厳しい条件の中、3者が北側東西方向、3者が東側南北方向にいずれも直線的な建物でありましたが、最適提案者は、南側東西方向を基本に鍵型の建物の提案であり、その特徴的な配置計画から様々な機能が示され、総じて高評価を得たものであります。

その形状的な特徴から屋外リハビリスペースが提案され、結果、3か所の緊急時の避難スペースが確保されたこと、また、院内動線も来院者と病院スタッフを完全分離した配置計画や将来的な建物の増改築に対する柔軟性、更にはヒアリングにおいて、省エネ性能のさらなる向上に向けた取組みへの姿勢も示していただきました。

特に、地元貢献額は全7者中最高額を示すなど、技術評価点では8名の選定委員中5名が最高点を付け、また、価格評価点においても参考価格を下回る金額を提示し、その提案内容が総合的に評価され、最適提案者に選出されたものであります。

② 次点提案者：戸田建設株式会社

次点提案者は、北側配置東西案を採用し、寒冷地に配慮した南側玄関、大屋根等のほか、一階ピロティ部へのコミュニティバスの誘導や公用車、身障者駐車場の配置、さらには、特許技術を活用した天井部分の安全性確保など創意工夫にあふれた提案がありました。

取組体制についても、デザインビルドでありながら、設計側がイニシアチブをとるフロントフローリングの採用を明言し、施工側との均衡を図る努力についても高評価を得るとともに、ライフサイクルコストの低減等への提案内容も高評価を得たものがあります。

価格評価点では、全体最高額となる提案価格を提示いただき、大いに評価されたところではありますが、技術評価点においては、地元貢献額が多少低調であったことなどの影響からか思うように得点を伸ばすことが出来ず、惜しくも次点提案者となったものであります。

8 おわりに

本プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして真摯に努力いただいた関係各者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、最適提案者においては、設計・施工一括発注のメリットを生かして、事業費・工期を遵守しながら、町民が快適で安心して利用できる病院づくりにご尽力されることを期待しております。

白老町立国民健康保険病院
改築事業者選定委員会
委員長 安藤尚志